

鏡川流域パートナーシップだより No.257 R7.12.10



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「著者来たる！第7回「川から始める地方再生」サミット@高知・鏡川」を開催しました

12月9日(火)に、【著者来たる！第7回「川から始める地方再生」サミット@高知・鏡川】と題し、「川から始める地方再生」の著者・水谷要さん(東京都在住)をお招きし、鏡川流域関係人口が集うイベントを開催しました！

現地会場の「はりまやアンサンブル(高知市はりまや町)」には、鏡川流域関係人口講座3期生の藤澤佑介さんなど、10名が集まりました！また、現地会場での対談の様子をZoomで中継し、「ぼっちり」ユーザー「あいのまま」さん(北海道在住)や「だっぷる」さん(神奈川県在住)、鏡川流域関係人口講座2期生の川田玄一さん(東京都在住)など、4名のオンライン参加がありました。



※第6回サミットは有志により非公式で開催されました



水谷さんが代表を務める「特定非営利法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト」は、リバーブランディング(川を起点に地域の稼ぐ力と地域プロモーションを創造すること)を通じて、地方再生の取組を進めています。水谷さんの取組の記録や地方再生についての検討などを、著書「川から始める地方再生」に記しています。

「ぼっちり」を通じてコメントが多数届きました！



- できればリアル参加したいです！時間に間に合うように仕事を終えます。オンライン開催していただき感謝です。
- 家族のご飯の支度が終わったらオンラインで参加予定です！
- 遠方で参加できませんが、価値観の共有、大事ですね。
- 川との関わりは季節によって違いますよね。



日頃、鏡川流域関係人口オンライン交流会などで交流を深めている桑山佳織さん(日本コバック株式会社/アロマセラピーインストラクター)にもお越しいただき、「香り」というアプローチで鏡川との接点を作るアイデアをみんなで出しました！

桑山さんが持ってきてくださった杉の「枝葉」と「木」の香りを嗅ぎながら、香りにまつわる鏡川での取組をみんなで考えていきます。「やりたいことがありすぎて妄想が止まらない」「こうやって妄想しう段階が一番楽しいですね」と、ワクワク感とアイデアを共有しました！



高知市内の学校(環境学習)と連携して杉の葉を集める、まちのコイン「ぼっちり」を活用して鏡川流域にまつわる香りの情報を集める、鏡川流域の竹や石を加工して香りをしみ込ませ、アロマグッズを作る…といった多様なアイデアが出ました！鏡川流域パートナーシップで大切にしている「まずやってみる」という意識のもと、鏡川源流で杉の間伐をしている住民にヒアリングをしたり、少量の杉の精油からアロマグッズのサンプルを作ったりと、**できることから**取り組んでいきます！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android